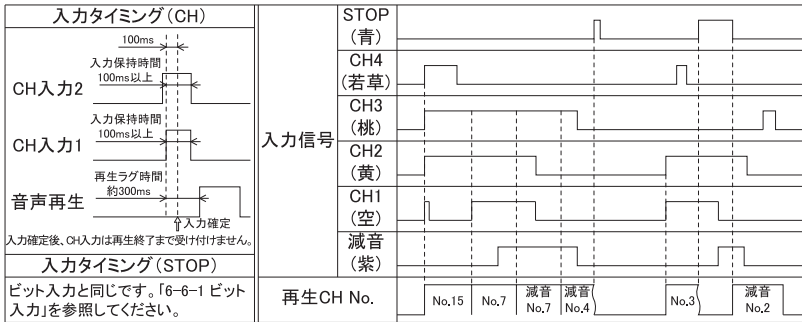


6-6-2 バイナリ入力モード

- 最大15メッセージが再生可能です。
- CH1～CH4の信号線と共通線の短絡状態により、対応したメッセージが再生されます。
(バイナリ入力対応表参照)
- 本製品を電源起動にて動作させる場合、メッセージの再生まで約1秒かかります。
- 本製品を信号線制御にて動作させる場合のタイミングチャートは、下表を参照してください。

信号入力タイミングチャート表(バイナリ入力)



バイナリ入力対応表

再生CH No.	入力信号				再生CH No.	入力信号				再生CH No.	入力			
	CH1 (空)	CH2 (桃)	CH3 (若草)	CH4 (若草)		CH1 (空)	CH2 (黄)	CH3 (桃)	CH4 (若草)		CH1 (空)	CH2 (黄)	CH3 (桃)	CH4 (若草)
1	1	0	0	0	6	0	1	1	0	11	1	1	0	1
2	0	1	0	0	7	1	1	1	0	12	0	0	1	1
3	1	1	0	0	8	0	0	0	1	13	1	0	1	1
4	0	0	1	0	9	1	0	0	1	14	0	1	1	1
5	1	0	1	0	10	0	1	0	1	15	1	1	1	1

※表中の「1」は、信号線と共通線の短絡を表しています。

7. 修理を依頼される前に

トラブル内容	確認事項	処置方法(参照項目)
音が出ない 回転灯が動作しない	電源は供給されていますか? 共通線と信号線が正しく配線されていますか? ボリュームが最小になっていませんか? 共通線と信号線が正しく配線されていますか?	配線を確認してください。(5. 配線方法) 配線を確認してください。(5. 配線方法) ボリュームを調整してください。(6-3. 音量調整) 配線を確認してください。(5. 配線方法)
違うCHが再生する	動作モードは正しく選択されていますか? 電源は供給されていますか?	スイッチを確認してください。(6-2. 動作モード) 配線を確認してください。(5. 配線方法参照)
音声書き換えができない	SDカードは正しく挿入されていますか? SDカード内のデータは正しく入っていますか? 書き換え音声メッセージは、合計64秒を超えていませんか?(64kbit/s、Fs=44.1kHz時) ボリュームが最小になっていませんか? 動作モードは正しく選択されていますか?	挿入方向を確認してください。(6-6. メッセージ書き換え) データを確認してください。(FV-Win取扱説明書) 音声メッセージのビットレートを下げるか、データの編集・削除をおこなってください。 ボリュームが最小の場合、確認音が聞こえません。ボリュームを調整してください。(6-3. 音量調整) スイッチを確認してください。(6-2. 動作モード)

●正常に取付け、操作しても動作しない場合は、最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

8. オプション

■SDカード 型式:SDV-2GP□

音・音声製品用のSDカードです。メッセージ書き換えの際に使用します。

■壁面取付けブラケット 型式:RF-001

壁面への取付けを可能にするブラケットです。壁面に配線を露出することなく、製品を取付けることができます。

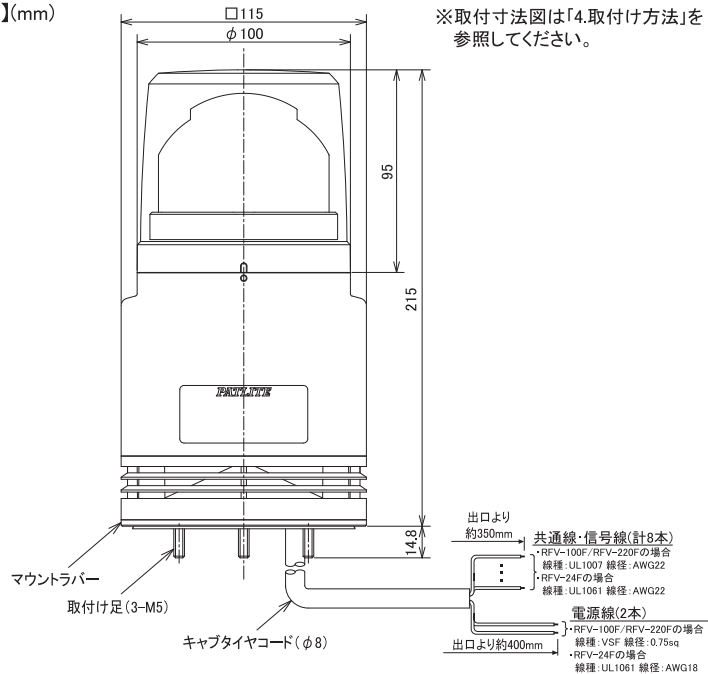
■直取付けブラケット 型式:RF-002

天井取付け(逆さ取付け)を可能にするブラケットです。配線後に取付けをおこなうことができます。

9. 仕様

機種名	RFV-24F-□	RFV-100F-□	RFV-220F-□
定格電圧	DC 24V	AC 100V (50/60Hz)	AC 220V (50/60Hz)
電圧許容範囲	DC 24V±10%	AC 100V±10%	AC 220V±10%
消費電力	最大 18W	最大 16W	最大 16W
最大音圧レベル	95dB以上 *製品を□300mm板の中心に取付け、中心より正面方向1m・1kHz正弦波再生にて測定 ボリューム調整可能 音声内容・使用環境により、音圧レベルが低下することがあります		
減音レベル	20dB (1kHz正弦波再生、ボリューム最大時)		
音声ファイル	MPEG1-Audio Layer III (MP3) 標準ビットレート:64kbit/s、Fs=44.1kHz		
最大再生秒数	合計63.5秒 (標準ビットレートデータ再生時)		
内部メモリアイズ	508KB (MP3データ合計)		
動作モード	ビット入力モード/バイナリ入力モード/強制再生モード (切り替え可能)		
信号入力方式	パルス入力 (パルス幅:100msec以上)		
起動時間	電源起動時:1sec以下 信号起動時:300msec以下		
回転灯光源・光度	LED・赤(R) 3000cd以上 / 黄(Y) 2500cd以上 / 緑(G) 2000cd以上 / 青(B) 600cd以上		
閃光数	115 ± 15 回/分		
動作温度範囲	-10 ~ 50 °C		
相対湿度	85%RH以下 (結露なきこと)		
取付方向	屋内:正逆方向可能 (水がかかる場合は正方向のみ) 屋外:正方向のみ		
保護等級	IP54 (正方向取付けのみ)		
絶縁抵抗	DC 500V 1MΩ以上 (充電金属部-非充電金属部間)		
耐電圧	AC 500V 1分間 (充電金属部-非充電金属部間)	AC 1000V 1分間 (充電金属部-非充電金属部間)	AC 1500V 1分間 (充電金属部-非充電金属部間)
耐振動	正方向取付:45m/s ² 30Hz 前後2h・左右2h・上下4h	正方向取付:19.6m/s ² 30Hz 前後2h・左右2h・上下4h	
質量	1.0kg±10%		

【外観図】(mm)



※取付寸法図は「4.取付け方法」を参照してください。

●本書に記載した警告事項・注意事項に反したお取扱いにより発生した故障や損害などについては、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本書の内容につきましては、改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

1 製品保証規定

製品ご使用前に必ず二次元コード、又は下記URLより製品保証規定をご確認をお願いします。

お客様が製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社の間で本規定の効力が有効に生ずるものといたします。

製品保証規定アドレス https://www.patlite.co.jp/product_warranty_terms/



PATLITE

V95100112_05

MP3音声合成内蔵LED回転灯

シグナルボイス®

取扱説明書

TYPE : RFV

このたびは、**パトライト シグナルボイス**。をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本書は大切に保管してください。保守・点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。
なお、ご不明な点は最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を見誤りして誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

1. 安全のために必ずお守りいただきたいこと

警告

- 配線・製品の取付けは必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
- 製品の分解・改造をしないでください。火災、感電などの恐れがあります。製品内部の修理・点検などは、最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。
- 配線は間違いないよう注意してください。内部回路が焼損し、火災の原因になります。
- 電源は、必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因になります。
- 工事を伴う設置は必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

注意

- 電源回路及び本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。

警告及び注意事項に反したお取扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保障はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。

お願い

- ケース側面のカバーは、必ず閉めて使用してください。水やほこりが入ると、故障の原因になります。
- 強い電波や誘導ノイズのない環境で使用してください。スピーカーからノイズがでる恐れがあります。
- 腐食性ガスのない環境で使用してください。故障の原因となります。
- 静電破壊防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから、作業をおこなってください。他のアースされている金属部分を素手で触れると、静電気を放電させることができます。
- 本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
- 仕様をこえる振動のある場所では使用しないでください。本体が破損・落下する恐れがあります。
- 付属品や取り外した部品は、紛失しないようにしてください。

～著作権について～

音楽CD、または他のメディアから録音あるいはコピーされた著作物を公衆・公共の場所で使用された場合、著作権侵害による法的処罰を課せられることがあります。音楽CD、または他のメディアから録音、あるいはコピーされた著作物を使用する場合には、必ず著作権者の承諾を受けてください。また、株式会社パトライトが配布、または販売する音声・音楽データの著作権は、弊社に帰属します。株式会社パトライトの音声・音楽データの内容の一部、または全部を、権利者の許可無く複製・転載、またはネットワークなどで転送したり販売することを禁止します。

2. 型式表示方法

RFV - 100 F - R

■定格電圧
24 : DC 24V
100: AC 100V
220: AC 220V

■回転灯色
R : 赤
Y : 黄
G : 緑
B : 青

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする

株式会社 **パトライト**
www.patlite.co.jp

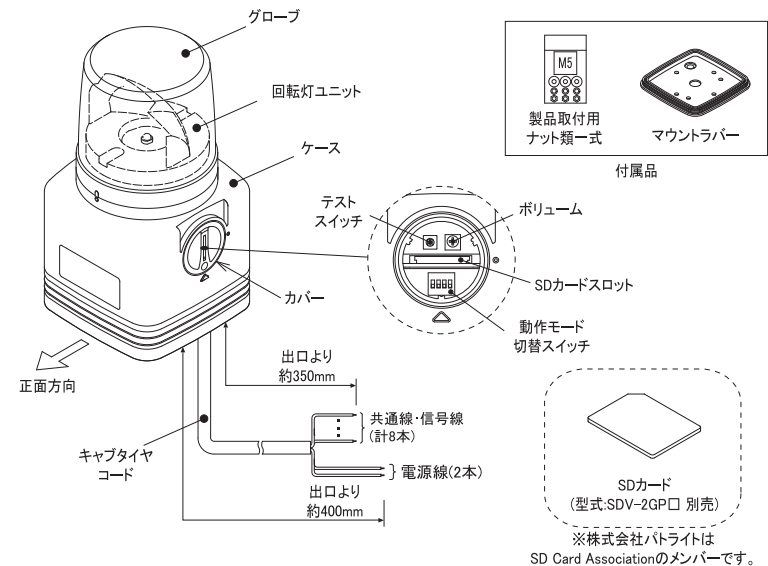
J2G

〔受付〕月～金 9:00～17:00
土・日・祝日・当社休業日を除く

●技術・修理相談窓口(無料) :0120-497-090

※ご注文・価格・納期等は、購入先にお問い合わせください。

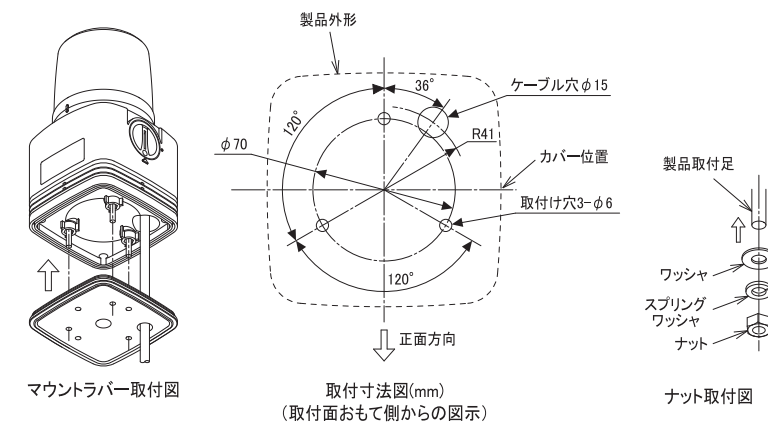
3. 各部の名称



4. 取付け方法

次の手順に従い、取付けをおこなってください。

- ①製品へ、マウントラバーを取り付けてください。(マウントラバー取付図参照)
- ②取付面へ、取付穴の加工をおこなってください。(取付寸法図参照)
- ③製品を取付面から挿入し、付属品のナット類をワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順に取り付け、締め付けてください。(ナット取付図参照、推奨締め付けトルク:0.7N・m)
- ④製品及びナット類が、正常に取り付いていることを確認してください。



警告

- 製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
- 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

注意

- 取付面は、製品の重さに耐えることができる十分な強度を確保し、振動の少ない場所を選んでください。製品の落下によるけがや、製品破損の恐れがあります。
- 付属のナット類一式はすべて使用し、推奨トルクで取り付けてください。製品の落下によるけがや、製品破損の恐れがあります。

お願い

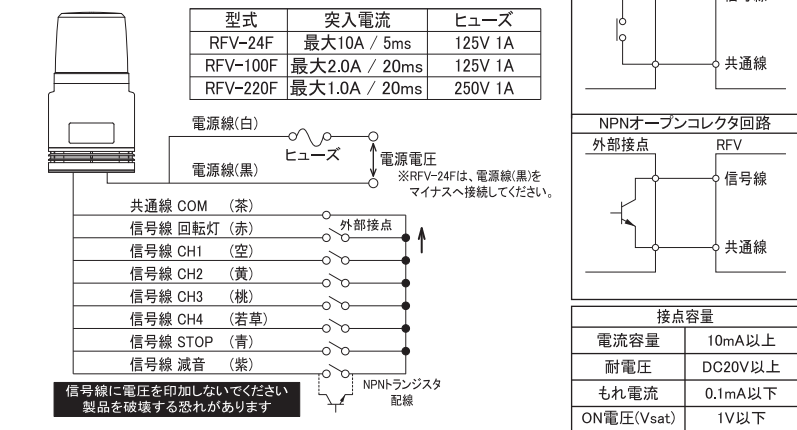
- マウントラバーは、必ず取り付けてください。また、製品との間にすきまがないように取り付けてください。製品の防水・防塵性が低下します。
- 製品は凹凸のない平面に取り付けてください。製品の防水・防塵性が低下します。
- 振動の発生する場所では製品落下を防ぐため、ねじロックなどの塗布や、取付ナットの締め付けの定期点検をおこなってください。
- 高所へ設置する場合は、補修のしやすい足場のある場所を選んでください。
- 電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに電源を切ることができるスイッチを設けてください。

お知らせ

- 取付面の材質・厚さや、製品の再生音量により、取付面が共振し、振動音(ビビり音)が発生する場合があります。取付面の補強などで対策をおこなうことができます。

5. 配線方法

信号線の外部接続には、リレー・スイッチなどの無電圧接点回路、またはオープンコレクタ回路(NPN型)を使用してください。回路・接点容量は、右表を参照してください。



警告

- 配線は必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
- 配線は間違いないよう注意してください。内部回路が焼損し、火災の原因になります。

注意

- 電源回路および内部回路保護のため、必ず外部にヒューズを接続してください。

お願い

- 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。
- ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。
- 電源配線にリレー・スイッチなどの無電圧接点を使用する場合は、突入電流を考慮したものを選定してください。容量が不足すると、接点の溶着・誤動作の原因となります。

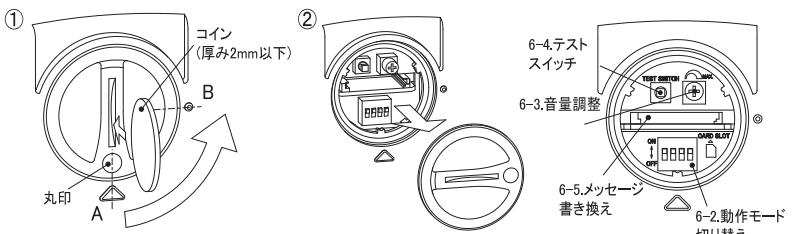
お知らせ

- 複数台での使用時に、電源または信号線を同時に入力した場合でも、音声の再生・回転灯の回転周期にズレが生じます。
- RFV-24Fは、電源線(黒)と共通線COMを短絡して使用できますが、ノイズの影響を受けやすくなります。

6. 使用方法

6-1 カバーの開閉

音量調整、メッセージ書き換えなどをおこなう際に、カバーの開閉をおこないます。
①コインなどを使用し、カバーの丸印をBの位置までまわし、②手前に引いて取り外してください。設定作業終了後、カバーを逆の手順で取り付け、丸印をAの位置までまわしてください。



お願い

- カバーを取り外した際、内部に異物が入らないように注意してください。
- カバーを取り付ける際、丸印を確実にAの位置までまわしてください。製品の防水・防塵性が低下します。

6-2 動作モード切り替え

スイッチの切り替えにより、以下の動作モードの選択が可能です。

- ビット入力モード: CH入力ビット入力に設定されます。動作は6-6-1を参照してください。
- バイナリ入力モード: CH入力ビット入力に設定されます。動作は6-6-2を参照してください。
- 強制再生モード: 電源が入ると、CH1を再生します。(CH入力が無効になります。)



出荷時設定 メッセージ登録がNo.4までの場合: ビット入力モード
メッセージ登録がNo.5以降にされている場合: バイナリ入力モード

6-3 音量調整

ボリュームで音量を調整することができます。ボリューム操作は指でツマミをまわしておこなってください。

お願い

- ボリュームは軽くまわしてください。50mN・m以上のトルクをかけると、破損する恐れがあります。

お知らせ

- 音量を大きくすると、メッセージ内容により、音割れが発生する場合があります。
- 使用環境により、ボリュームが最小でも音量が0にならない場合があります。

6-4 テストスイッチ

SDカードが挿入されていない状態でテストスイッチを1回押下すると、CH1のメッセージが再生し、回転灯が動作します。再度押下すると、再生と回転灯の動作を停止します。動作確認、音量調整の際に使用してください。また、SDカードが挿入されている状態で押下すると、SDカードを読み込み、メッセージ書き換えをおこないます。動作は「6-5 メッセージ書き換え」を参照してください。

6-5 メッセージ書き換え

SDカード(型式SDV-2GP□ ※別売)、「PATLITEプレイリストエディタ2」(ホームページから無償ダウンロード)、音声データを使用し、メッセージの書き換えをおこなうことができます。本製品の最大メッセージ秒数は、合計63.5秒(標準ビットレート再生時 内部メモリサイズ:508KB)です。データ作成、SDカードへの保存方法については、ホームページの「ご利用ガイド」を参照してください。

- メッセージ書き換え手順
- ①製品の電源を入れ、カバーを開けてください。
 - ②動作モードがビット入力、またはバイナリ入力であることを確認し、SDカードスロットに、書き換えデータを保存したSDカードを挿入してください。※音声再生中、または強制再生モードでは、メッセージ書き換えができません。
 - ③テストスイッチを押下すると、「ビボ」と1回報知し、書き換えを開始します。
 - ④データの書き換えが完了すると、「ピー」と1回報知しますので、SDカードを抜いてください。書き換えは45秒以内に完了します。「ビビビビ」と報知した場合や、何も反応がない場合は書き換えが正常に終了していません。「7.修理を依頼される前に」を確認してください。
 - ⑤各CHのメッセージを再生し、正常に書き換えができていないことを確認してください。

お願い

- SDカードは、別売のSDV-2GP□を使用してください。他のSDカードを使用した場合は、保障されません。
- SDカードをフォーマットする際は、FAT16でおこなってください。
- Windows10等でフォーマットした際、弊社製品にて認識しないフォーマットになる場合があります。その際は、FAT16のフォーマットが可能なOSにてフォーマットを行うか、SDカードアソシエーションが提供しているフォーマットツールにてフォーマットを行ってください。OSDメモリアードフォーマッター(実行には管理者権限が必要です) <https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html>
- カードスロットにSDカードを差し込む際、方向に注意してください。また、SDカードスロットへSDカードを無理に押し込まないようにしてください。製品・SDカードが破損する恐れがあります。
- メッセージ書き換え中は、電源を切らないでください。

6-6 再生方法

製品の電源を入れ、共通線と各信号線を短絡させると、以下の通り動作します。

- 回転灯: 短絡されている間、回転灯が動作します。
- CH1~CH4: 100ms以上の短絡(パルス入力)により、メッセージを1回再生し、再生中に回転灯が動作します。メッセージ再生中は、STOP以外の入力を受け付けません。メッセージが入っていない場合は、短絡されている間、回転灯のみ動作します。※再生されるCH No.は、動作モードにより異なります。6-6-1(ビット入力モード)、6-6-2(バイナリ入力モード)を参照してください。
- STOP: 100ms以上の短絡(パルス入力)により、メッセージの再生・回転灯の動作を停止します。
- 減音: 短絡された状態でCH1~4を入力すると、メッセージ再生音圧が低下します。再生中のメッセージが複数フレーズの場合は、次フレーズより減音されます。減音レベル:-20dB(1kHz正弦波再生、ボリューム最大時)

6-6-1 ビット入力モード

- 最大4メッセージの再生が可能です。
- 同時に2つ以上のCH1~CH4と共通線の短絡があった場合、数字の大きいCHのメッセージが再生します。 信号入力優先順位 STOP > CH4 > CH3 > CH2 > CH1
- 本製品を電源起動にて動作させる場合、メッセージの再生まで約1秒かかります。
- 本製品を信号線制御にて動作させる場合のタイミングチャートは、下表を参照してください。

